広報 あかいけ

60年 3月 No.266

発行所　赤池町役場　　編集　総務課 文書広報係 ☎（代表）２８－２００４
印刷所　赤　池　印　刷　　毎月　１回発行

▶毎週２回、町部・中尾地区を
パトロールする12支所のみなさん◀

地域づくりは自分たちの手で

明るい地域づくりをめざして、12支所地区公民館（早谷孝館長、133世帯）では、町部を中心に毎週２回、夜警を行っています。

空巣の被害を受けたり、車のガソリンを抜かれたり、青少年の夜間外出など環境悪化が目立っていた昭和56年。地区公民館活動の一環として、『青少年の健全育成のためにも、自分たちの地域は自分たちで守ろう。』と始められました。

毎週２回、深夜に町部を中心に中尾地区までパトロール。雨の日は車で上野地区まで足を伸ばします。

今では、環境浄化だけでなく地域の活動や課題を話し合い、コミュニティーづくりの場としても定着してきました。

世話人のひとり、久原弘さんは、「こういう地域づくりの輪が全町に広がってほしい。」と話しておられました。

なお、他地区でも同様の、あるいは学校の休み期間中に取り組んでいる所もあるようです。

（とじて保存してください）

度の主なできごと

故田中六助氏の地元あての遺書に『少年のころから眺め暮らした香春岳や福智山、悠然と流れる遠賀川の瀬音、本当に故郷の山河は懐かしく思い出の尽きないものございます。』とあります。

懐かしく思い出の尽きない、かけがえのない故郷を守り育てるのは、私たち、そこに住む一人ひとりの力です。

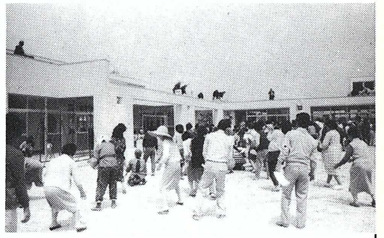
明るいまちづくりを進めるためにも、みんなで知恵を出し合い、21世紀へ続く活力あるまちを創造していきましょう。

4月 陶器まつりに 過去最高の人出

４月14日から３日間行われた第11回上野焼陶器まつりは好天にも恵まれ１万３千人以上という過去最高の人出を記録しました。

国の伝統的工芸品の指定も受け、観光客も広域化。上野焼新時代の到来を感じさせます。

5月 赤池保育所 上の原に新築移転

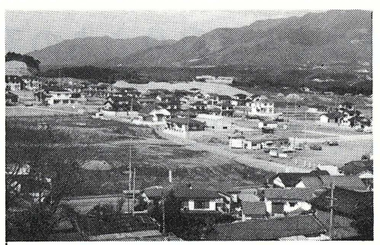


赤池保育所が上の原に新築移転されました。

同和対策事業などの適用を受け、総工費１億2,200万円、874㎡の近代的建物。

５月17日、近くの人も多数つめかけ落成式が行われました。

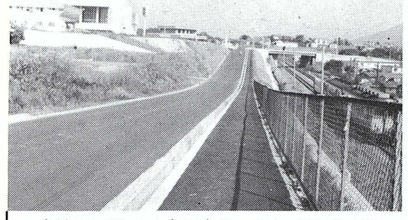
6月 赤池ニュータウン 売れゆき順調



この月、町が現在売り出している赤池ニュータウンの売れゆきがどんどん伸びました。

これは付近に住宅が増えたこと、住宅公庫の融資が５月に行われたこと等によるものと思われます。

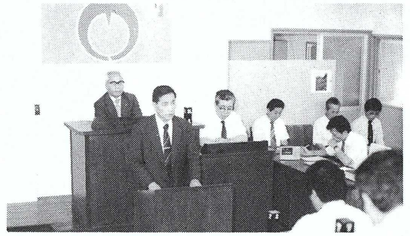
7月 町道二反ヶ浦～松本線開通



赤池駅西側から商工会前へ通じる町道二反ヶ浦～松本線が７月23日供用開始されました。

建設省道路局の補助事業で同和対策事業の適用も受け、総工費2億4,000万円。昭和55年度からの五ヵ年事業として実施されました。

8月 町長選挙 池永町政がスタート



７月29日に投票が行われた町長選挙で、池永輝昭氏が当選。『将来に夢を、行政に活力を』という大きなテーマで池永町政がスタートしました。

9月 みなさんの善意で 福祉バスを購入

赤池町社会福祉協議会の福祉バスが、多くのみなさんの資金援助で新しくなりました。

『ふれあい号』と命名され、お年寄りの足として大活躍しています。

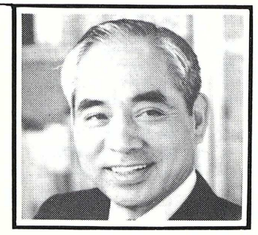
広報紙にみる今年

今年度の（昭和59年４月から60年３月まで）広報紙から、主なできごとを月別に、拾ってみました。

紙面の都合により当該月に掲載できなかったものの中にも、例年にないできごとがたくさんありました。

引き続く赤字財政の中、限られた財源をいかに使って、どれだけの効果をあげられるかは、今、地方自治体に与えられた最大の課題ですが、こうして振り返ってみると、年ごとに効果を上げているもの、世代のパワーに頼らざるを得ないものといろいろあるようです。

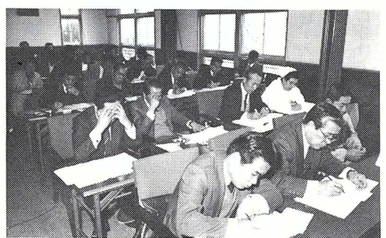
1月 田中六助氏が死去



赤池町出身で、名誉町民でもある前自民党幹事長、田中六助氏が31日亡くなられました。62歳でした。

産炭地浮揚など多くの政治課題を抱える今日。町にとっても国政との大きなパイプ、大黒柱を失ったことになります。

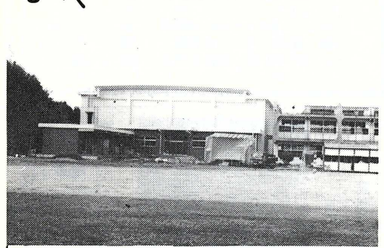
2月 第2次総合計画策定へ 体制づくり進む



個性と魅力あるまちづくりのための長期計画、第２次赤池町総合計画の体制づくりが進んでいます。

役場内に策定委員会が組織され、６つの分科会に分れて、基本構想、基本計画、実施計画が策定されます。

3月 赤池中 体育館を全面改築



赤池中学校体育館が全面改築されています。

1億4,500万円をかけ、建物面積1,063㎡で移動式ステージやクラブハウスなどを備えた近代的体育館です。今年の卒業式は新しい体育館で行われる予定です。

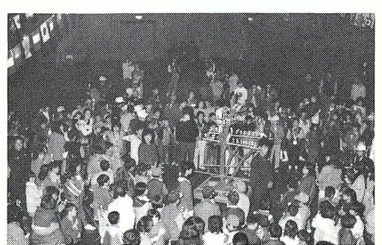
10月 〝声の広報〟を開始

町内の目の不自由な方のため赤池町社会福祉協議会は、町の広報紙を朗読し、録音テープに入れ、無料で自宅へ届ける制度を始めました。貴船の丸山鈴子さんがボランティア活動で協力されています。

11月 ミスほほえみコンテスト 増田咲子さんに栄冠

赤池町のイメージアップをはかり、町に潤いを与えようと町民文化祭の一還として、商工会主催で行われた「84ミスほほえみコンテスト」、ミスに増田さん、準ミスに長崎さん、和田さんが選ばれました。

12月 蒼い会がクリスマスパーティ



12月22日〝蒼い会〟の若者が町内の子どもたちをクリスマスパーティに招待しました。

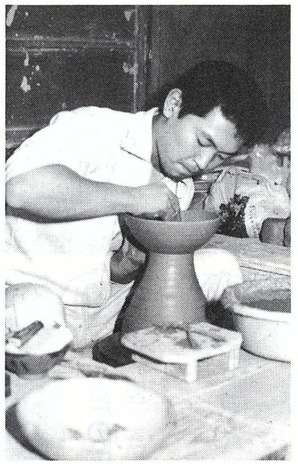
フォークダンス、クイズ、ゲームなどで楽しく遊び、最後はキャンドルの集いでクリスマスの夜を満喫しました。

伝統産業に若い息吹

高鶴さんの「鉄釉皿」に奨励賞

昨年末、東京で開かれた五十九年度伝統的工芸品産業コンクール展示会で上野焼庚申窯の高鶴享一さん(二二)の「鉄釉皿」が奨励賞を受賞しました。

同コンクールは今年で九回目。全国から三千二百十五点が出品され、上野焼では今回が初めての受賞。「日ごろ勉強していた試しのくすりを使って出品した。」という高鶴さんは、九州造形短大で窯芸を専攻、中学生のころから遊び程度で粘土は扱っていましたが、本格的に作品を作るようになってまだ一年足らず、「腕を上達させるのが先。」と父、智さんと共に上野焼の伝統を守り育てる若い陶芸家です。



▶伝統産業を守り育てる若手陶芸家のひとり、高鶴享一さん◀

寒造見学吟行記

水上　幹子

立春の二月四日、早春の快適な日和に恵まれ犀川の醸造元に着いたのは十時半を過ぎていた。

寒造煙突目ざし車駈る　幸女

山あいの寒村にして寒造　大愚

古りし塀時代を語り寒造　翠人

「銘酒九州菊」の看板を見上げながら、若い専務さんの案内に従って薄暗い酒蔵を抜け、まず麹室に入る。皆一斉に「まあ」『本当に寝ているようね』今朝の蒸米数十瓩が何枚かの大布団をかけられてまさしく怪物が横たわるように寝ている。麹になるまで四十五時間かかると聞く。入口の温度計は二十八度。室外には出来上った麹がびっしり筵に並べられている。むせ返る中の見学寒造　幸女

次は醸室。酒母づくりである。一日おきに麹が入れられる。その日付が記入され日数を経た順にタンクが両方に分けて並べられている。坊主地獄のように淡紅色の泡がふつふつといって生きている。泡が溢れ出るので同型の筒を上に重ね口を倍の高さにしているのも見られる。柄振で撹拌して発酵を促したり冷温器で温度を上げたり冷やしたりして配慮する御苦労が偲ばれる。最後の仕込み酒蔵は沢山な大タンクが並んで大規模な酒造りを再認識する。

神棚に燈明とぼし寒造　喜代子

垂直に近い狭い幅の急梯子を酒蔵子に従って恐る〳〵登り大タンクの中を覗く。発酵して泡がないように泡を飛ばす機械が回っている。

寒造菊の商標なりしかな　寿子

臼袴干して杜氏の煙草刻　昭女

立春の日ざし届かぬ酒蔵の奥　陶子

ぷくぷくと酒母生きてをり寒造　幸女

里人の季節働き寒造　大愚

やうやくに尋ね当てたる寒造　翠人

酒母づくり柄振まぜるも忙しく　幹子

つれづれに　53

庭石と庇に今朝の初の雪

去年今年よくぞ生きたり加護感謝

数々の心通ひし賀状くる

郷土画家丑年賀状版画刷り

数の子の一はし二はし酒うまし

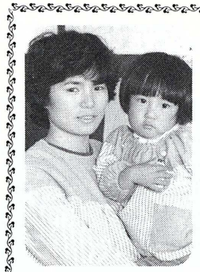
謡初め心静めて高砂を

夫残し姥先に旅つ松の内

大雪や氷点下割り峡凍てる

異状乾燥空気の凍てて喉いたむ

初法話老いの願望春を待つ



職場のアイドル

川上　富士子　さん

(上野保育所　勤務)

保母になって三年目。「子どもの心を読み取るように心がけて保育に当っています。」という、とてもしっかりしたお嬢さん。

手芸やバレーボールが得意で竹脇無我みたいな、まじめでおもしろい人が好きとのこと。

高津牟津美園長のお話　何ごとにも真剣に取り組む姿は、園の大切な歯車の一つとして今後に大きく期待されます。

3月　こよみと行事

1日(金)　全国緑化運動

3日(日)　親子レクリエーション大会(9時半から総合グラウンド)

ひな祭・耳の日

6日(水)　啓蟄

7日(木)　心配ごと相談(10時から福祉センター)

消防記念日・建築物防災週間(13日まで)

15日(金)　赤池中学校卒業式

贈与税・所得税の確定申告期限

17日(日)　国際科学技術博覧会「つくば科学万博」開会(9月16日まで)

18日(月)　心配ごと相談(10時から福祉センター)

彼岸入り

乳児保育相談(2年2月から12年2月生まれが対象　10時から11時半　町民会館)

19日(火)　上野・市場両小学校卒業式

20日(水)　三種混合(生後24ヶ月から48ヶ月を対象　13時半から15時　町民会館)

21日(木)　春分の日

23日(土)　小・中学校終業式

世界気象デー

27日(水)　解放講座(19時半から中央公民館)

28日(木)　上野・赤池保育所生活発表会と卒園式

29日(金)　市場・中尾保育所生活発表会と卒園式

暴力追放宣言に関する決議

昨年わが赤池町において発生した恐喝事件にあっては、昭和四十八年七月二十八日の町議会において「暴力追放町」として宣言し決議されていたにもかかわらず現実に発生したことはまことに遺憾であり、強い憤りを覚えるものである。

これら一連の暴力的行為は漸次減少の傾向にあるとはいえ、未だ根絶の域に達せず善良な住民生活に不安と脅威を与え、平和的秩序を乱していることは、はなはだ無念であり、今後は今まで以上に全町をあげて精力的な取組みをはからなければならない。

平和にして活力のある住みよいまちづくりを一歩一歩進めている中で、これら暴力行為が町の発展を阻害し、青少年に及ぼす影響はまことに憂慮に堪えないものがある。

このような状況にかんがみ住民の人権と平和な文化生活を守り、明るいまちづくりを推進するため全町あげて暴力の排除を決意し、ここに暴力追放を宣言するものである。

右、決議する。

昭和六十年一月三十一日　赤池町議会

交通安全宣言に関する決議

われわれ赤池町民は、人命尊重の精神に徹し非惨な交通事故をなくすため、正しい交通秩序の確立と安全で快適な道路交通環境の実現に努めているところである。

本格的な車社会を迎えた今日、安全で快適な交通社会を実現するためには、すべての人々が自ら交通ルールとマナーを守り思いやりの心を持った交通行動をとることが何よりも大切であると考えている。

毎年、春秋に行われている全国交通安全運動の展開の中でも重点目標の一つであるシートベルトの着用が強くいわれ、交通事故から身を守るという意識を周知徹底させているにもかかわらず、これの着用を怠たりスピード違反、飲酒運転等による交通事故で尊い生命が失われようとしている現実を直視するとき深い悲しみと激しい憤りを覚えるものである。

これら交通事故の増加傾向がこのまま推移すれば社会不安を増大し、かつ町民の福祉を著しく低下させ、ひいては町発展の大きな支障となることを憂慮する。

われわれは赤池町民が痛ましい交通事故の加害者や被害者にならない願いを込めて、ここに交通事故の絶滅を期するため交通環境の整備と交通安全思想の啓蒙に最大の努力を払い、よって交通事故のない安全で豊かな郷土づくりに邁進するものである。

右、決議する。

昭和六十年一月三十一日　赤池町議会

待ち合い室

前回はエコーという機器を紹介しましたが、ほかにも眼底カメラという機器があります。これは、脳動脈硬化症、高血圧症糖尿病などの時に使用します。

このような症状の患者さんに、体の中で一番先に出血や浮腫などの症状が現われる眼底を、カメラで写真にして撮り、後の医療の役にたてるものです。

ほかにも色々な検査があります。患者さんの血液なども、何回も検査して正常範囲を知ることが予防医学の一端だと思います。

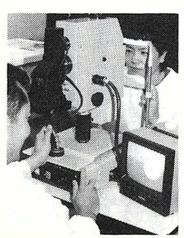
血液は無形成分と有形成分とがあります。無形成分は、主に水分ですが、免疫および電解質にも関係しています。有形成分は、赤血球、白血球、血小板などで、赤血球は酸素や栄養分の運搬、白血球は細菌を殺す役目、血小板は凝固に関係があります。

たとえば、みなさんが、少し体に異常を覚えるとき、体温を計りますね、自分の体温は、大体どの位かを知っていると思います。

三十五・五度、三十六度、三十六・五度、三十七度とこのような体温で異常か否かを知るには、自分自身しかわからないと思います。通常三十五・五度の患者さんが、三十七度の熱があったとしますと、この方は正常ではなく、微熱があるということになります。

このように、人それぞれの正常範囲というものがあります。血液検査にしても同じように患者さんそれぞれの正常範囲というものがあってしかるべきでしょう。そのために何回も血液を取って経過を見ているのだと思ってください。データは患者さんそれぞれの大事な財産です。早期発見、早期治療こそ、健康を守る秘けつだと思っています。

赤池町立病院検査技師
山本　軍治



▼眼底カメラ―高血圧、糖尿病、脳動脈硬化症などの症状はまず、眼底に現われる▲

議会だより

土地開発公社の土地代金返還訴訟を報告

３役の減給条例を可決

「暴力追放」「交通安全」を宣言

臨時町議会が、二十一日開かれ、町土地開発公社の天郷団地用地買収に伴う民事訴訟についての報告がなされ、この件に関し町執行部の公社に対する指導監督を欠いたとする道義的責任による三役給与の減給案が提出され可決されました。

また、暴力追放・交通安全に関する決議が議員提案され、それぞれ可決されました。

池永町長は、「行政に対する圧力に屈しない体制を作っていかなければならない。」と決意表明しました。

概要は次のとおりです。

条例

○赤池町長、助役、収入役給与条例の特例に関する条例の制定について…赤池町土地開発公社の天郷団地用地買収にかかわる不祥事について、町執行部としての公社に対する指導監督を欠いた道義的、社会的責任から、三役給与の減給条例が提出され可決されました。

内容は、町長が二月から四月まで三ヵ月間の給与を一割、助役、収入役が二月の給与をそれぞれ一割減給するというものです。

○赤池町水道条例の一部を改正する条例の制定について…赤池町の給水区域内の配水管を布設していない地域で新しく水道管などを布設する際、その工事費は申込者の負担とする内容の条例が可決されました。

請願

○昭和六十年度保育関係赤池町予算に対する請願…保育料の軽減と現在の軽減措置の継続、および現在赤池福祉会が全学園児に対して通学用の布カバンを無償配布していますが、これに対する財政援助を内容とする四保育所父母の会連合会会長平川秀子さんほかの請願が審議され、結果、厚生委員会へ付託継続審議となりました。

そのほか、十二月定例町議会で継続審議となっていた「河川敷利用のサイクリングロード設置についての請願」および「教育諸条件の整備充実をはかるための請願」は閉会中にそれぞれの常任委員会で審議され、今回採択されました。

また、「赤池町部鉱害復旧に関する請願」は、引き続き総務委員会で継続審議中との報告がなされました。

報告

○昭和五十九年度第三回赤池町土地開発公社理事会の報告について…一月二十五日に行われた赤池町土地開発公社理事会で、天郷団地用地買収に伴う民事訴訟について公社が支払った土地代金の返還の訴えを起こす議案が承認され、議会に報告されました。

訴状内容は、不当利得等請求事件として土地代の返還支払いと仮執行の宣言を求めるものです。

なお、この訴えは代金支払の当事者である赤池町土地開発公社が原告となり、一月二十八日福岡地方裁判所田川支部へ提訴しています。

この事件については、現在、刑事事件として公判中ですので、詳細については差し控えさせていただきます。

決議

○暴力追放宣言に関する決議

○交通安全宣言に関する決議

以上二件が議員提案され決議されました。（五面に宣言文掲載）

4月から 国民年金保険料が改定されます

月額６，７４０円に

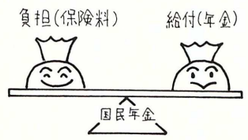
国民年金は加入者のみなさんが老齢になったり、障害者となったり、母子世帯になったりしたときに、年金を支給して生活の安定をはかることを目的としています。

この年金を支給するための財源は加入者のみなさんがおさめられる保険料と国の負担金などによってまかなわれています。

国民年金の年金額は、年々改善され、昨年は五月から引き上げられましたが、今年も五月からさらに三・四パーセント引き上げる予算案が出されています。

国民年金制度を健全に維持発展させるためには、年金給付水準に見合う保険料をおさめていただくことが必要です。

国民年金では、加入者の急激な負担の増加をさけるために、保険料を段階的に引き上げることとしており、このため四月から月額六千七百四十円に改定されました。



くわしくは、役場年金係または社会保険事務所へ問い合せください。

ありがとうございました

赤池町社会福祉協議会

【香典返し】

○俗ミツ子（中町）○十時勝正（薬王寺）○松尾花子（中町団地）○坂元マツエ（下西町）○高鶴茂勝（皿山）○藤原春生（高尾通）○大久保智之（原田）○柴田シズ（松本）○甲下ユキ（東町）○鶴肇（伏原）

【敬称略】

※葬儀に際して皆様から寄せられた香典返しは、社会福祉事業発展のため有意義に活用させていただいております。

改めてお礼申し上げるとともにご厚意に報いるためなお一層事業目的の達成に努力いたしたいと思います。

正しい確定申告をお早めに

確定申告は3月15日まで

今年も確定申告の時期になりました。例年のことですが、昨年一年間の収入や経費を調べ直して、帳簿類をとり揃えるなど、何かと忙しいときではないでしょうか。

でも、確定申告をすることによって、あなたの昨年一年間のまとめをしてみることは、今年のあなたの営業にとってもプラスとなる面があると思います。

ところで昭和59年度の改正により、白色申告者でも、事業所得や不動産所得、山林所得を生ずべき業務を、行っている場合は、確定申告書を提出するときに、その年の総収入金額や必要経費の内容を記載した収支内訳書を添付しなければならないことになりました。

確定申告をするときにあわてないですむように、今から準備しておきましょう。

例年3月10日を過ぎますと、税務署は大変混雑します。申告は正しくお早めに。

申告書の書き方など、分からない点は、税務署や税理士会の無料相談所でお尋ね下さい。

エンゼルクイズ

【第106回出題】

エンゼルは天使のつかいです
あなたに幸ありますように……

【問題】　選挙人名簿の定時登録

「市町村の選挙管理委員会は毎年９月１日現在において登録資格を有する者は９月２日に選挙人名簿に登録しなければならない」と法で定められています。

名簿に登録される人は、住民基本台帳に登録されている人で選挙権を有する人です。つまり市町村の区域内に□□を有している、年齢満□□歳以上の人で、引き続き□ヵ月以上その市町村の住民基本台帳に記録されている人が登録の対象になります。

【応募の要領】

答えを官製ハガキに記入のうえ３月15日までに赤池町役場総務課文書広報エンゼルクイズ係までお送りください。抽せんで正解者３人に記念品をお贈りします。

【第105回の解答】

選挙　実現

【正解者】

応募総数13通のうち正解11通。厳正な抽せんの結果、次の方に図書券を贈ります。

▷木村文江（下町）▷池田弘道（赤池）
▷北條スミエ（中町）　（敬称略）

町の人口

１月末日住民登録
（前月比）

人　口	9,925	（＋18）
男	4,717	（＋８）
女	5,208	（＋10）
世帯数	3,287	（＋８）

３月　福祉センターの行事

【休館日】
4日、11日、17日
21日、25日
【福祉バス運行日】
休館日および祝祭日を除く毎日
【仏教講演会】
３月13日(水)
午前11時から

【演　芸】
入館者へ自由に舞台を提供します。ご利用ください。
【心配ごと相談日】
7日、18日、27日
午前10時から午後３時
※17日は休館日になりますので18日に変更させていただきます。

農業用軽油の課税が免除されます

農業を営む人が、農業用に使用する動力耕うん機等の動力源に用いる軽油については、本人の申請により軽油引取税が免除されます。次のとおり申請受け付けが行われます。

▽とき　3月14日㈭　午前10時から午後3時まで
▽ところ　田川農協赤池支所
▽該当者　農業を営む人（兼業農家を含む、機械を共同購入し、共同で使用している人も可）
▽申請に必要な書類　①耕作証明書（当日農業委員会職員が現地で受け付け発行します。）②新規に申請される方は機械の所有を証する書類（売渡しを証明するもの、または、貸借契約書など馬力数、機械の名称等が必要です。）③エンジン番号または車体番号の複写（紙をあて上から鉛筆でなぞったもの、二年ごとで可）④印かん（共同申請の場合も個人ごとに必要）⑤昨年までに申請された方は②は必要ありませんが免税軽油使用者証を持参のこと。

※当日申請できない人は田川財務事務所でも受け付けます。
※書類不備の場合は交付できませんので事前に確認してください。
※問合せ先　田川財務事務所間税課（☎44－8111）

労働問題の移動相談

福岡県筑豊労働福祉事務所の無料労働相談が、次のとおり開かれます。お気軽においでください。

▽日時　3月19日（火）午前10時から午後3時まで
▽場所　赤池町民会館
▽相談内容　労働条件、安全衛生、労働災害、雇用関係、生活資金等貸付、労務診断、中小企業退職金制度、労使関係など労働問題の全般について

障害程度の等級認定基準の改正

昨年十月に法が一部改正され、身体障害者の等級認定基準で次の障害が一級の障害程度に認定されることになりました。

▽心臓機能障害　○人工ペースメーカーを装着した人○人工弁移植弁置換を行った人
▽じん臓機能障害　○血液透析を受けている人

また、すでに一級以外の等級で手帳交付されている人は、田川福祉事務所で再交付手続きを受けてください。

▽持参するもの　手帳、印かん（家族の方でも可）

田川地区消防組合のシンボルマーク募集

田川地区消防組合は、市町村の消防事務（火災の予防・消火、災害の防除および救急業務）を共同処理するために、昭和四十五年に設立された特別公共団体です。

今年は設立十五周年に当り、記念に同組合を表徴するシンボルマーク（自治体章）を募集しています。このマークは消防本部の旗や職員の制服のえり章（バッチ）などに使用されます。

▽応募方法　B5の西洋紙にハガキの大きさ以上の図案を書く（着色は自由）、余白に住所、氏名、電話番号を記入。簡単に図案の説明を記入。
▽提出先　田川市新町11番、田川地区消防本部総務課企画管理係（☎44－0650）
▽締切り　3月10日

生きがい対策事業（老人農園）参加者募集

赤池町社会福祉協議会（山下次男会長）では、町から委託を受けて、老人生きがい対策事業（老人農園）を実施しています。

これは、天郷の約一・五ヘクタールの畑で、野菜などを栽培し、生きがいと健康、お年寄りどおしのコミュニティーの増進をはかることを目的に実施している事業です。

昭和六十年度の参加者を次のとおり募集しています。

▽期間　昭和60年4月1日から昭和61年3月31日まで
▽対象者　町内に住んでいる健康な（要身体検査書）60歳から75歳までの男女。夫婦での申し込みはできません。
▽申し込み方法　福祉センターか役場福祉係にある申込書で申し込んでください。
▽締切り　3月10日まで（定員になりしだい締切ります。）

田川交通安全協会赤池支部 支部員募集

田川交通安全協会赤池支部（奥永昭政支部長20人）では現在支部員を募集しています。

同協会赤池支部は、昭和30年に設立された団体で、交通事故をなくすため、ボランティア精神でいろいろな活動をされています。

特に家庭におられる女性の方の参加をお願いしたいそうです。

加入申込み、問い合せは、役場企画係へご連絡ください。
（☎28－2004）

農家のみなさん

農作物病害虫の発生・防除などについて、テレホンサービスをご利用ください

福岡県飯塚病害虫防除所では農家のみなさんへ病害虫防除に関する情報を提供しています。

主な内容は**普通作物・野菜・果樹**などの農作物病害虫の発生状況、今後の発生予想、防除適期、使用薬剤名、農薬の適正使用等をお知らせしています。

情報は常時お送りしていますので、お気軽にご利用ください。

テレホンサービス
ムノウヤク
☎(0948)25-6089
福岡県飯塚病害虫防除所